

橋梁長寿命化修繕計画

【概要版】

令和5年3月

みなかみ町 地域整備課

■背景

みなかみ町は、令和5年3月現在で443橋の道路橋を管理しています。

この橋の1割近くが「架設後50年以上が経過する高齢化」を迎えており、**20年後には9割近くの橋梁が高齢化を迎えます**。また、橋のおかれる環境も交通量の増加や車両の大型・重量化により日々厳しい状況となっています。

そこで、橋の長寿命化修繕計画では、従来の「悪くなってから補修する管理（事後保全的管理）」から、「**損傷が小さうちに計画的に補修を行い、橋の長寿命化を図る管理（予防保全的管理）**」へ移行し、町民の皆様が生活する上で、大切な道路交通の安全性を守っていくことを目的として策定しています。



みなかみ町が管理する架設後50年を経過する橋梁の割合

■目的

道路交通の安全性を確保する上で、これまでの事後保全的な維持管理対応から計画的かつ効率的な予防保全的な維持管理への対応に転換を図り、**橋梁自体の長寿命化によるコスト縮減を図りました**。そこでみなかみ町では、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図るために、橋梁長寿命化修繕計画を策定しました。

■対象となる橋梁

みなかみ町が管理する443橋の道路橋の全てを対象とします。

■基本方針

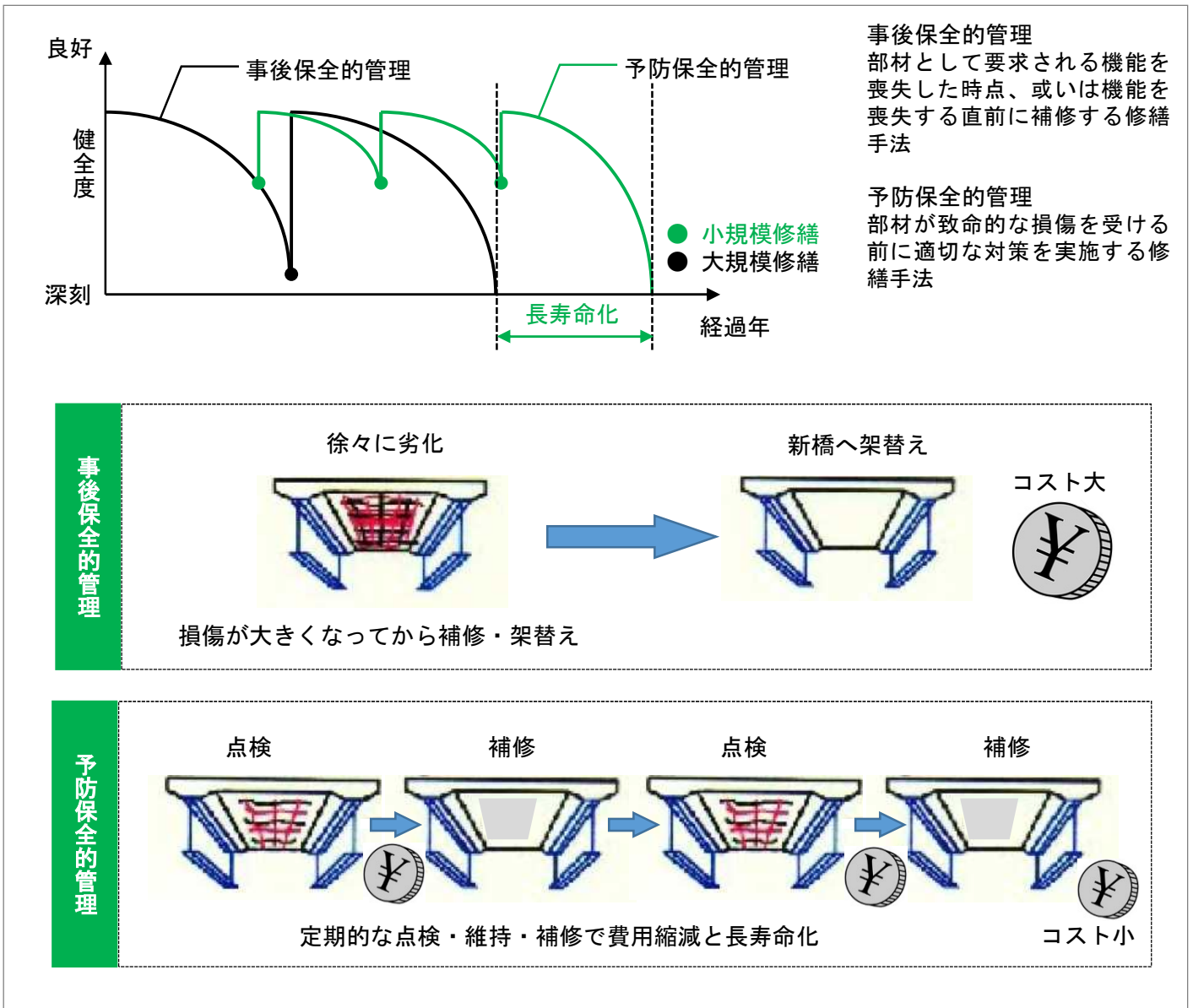
みなかみ町における橋梁管理の目標を満たすための基本方針を以下のとおり定めます。

- ① **安全で円滑な交通を確保することとします**
- ② **沿道や第三者への被害の防止を図ることとします**
- ③ **効率的な維持管理を行うための記録を得ることとします**

長寿命化修繕計画に基づく対策、点検の実施、診断及び計画の見直しというマネジメントサイクル（PDCAサイクル）を確立し、効果的な橋梁の維持管理を継続します。



■長寿命化と費用縮減



■点検と修繕

橋梁の現況を把握するため、5年ごとに定期点検を実施しています。補修工事は優先順位を考慮して順次実施しています。

優先順位は**健全性**（傷みが激しいもの）、**通学路**（学校等の経路）、**バス路線**（町指定の経路）、**迂回路**（迂回路が無く孤立してしまう）、**橋梁の規模**（橋長が長い）を用います。

また、今後の定期点検や補修工事を行う際には、新技術の活用検討を行い、ライフサイクルコストの縮減を目指します。

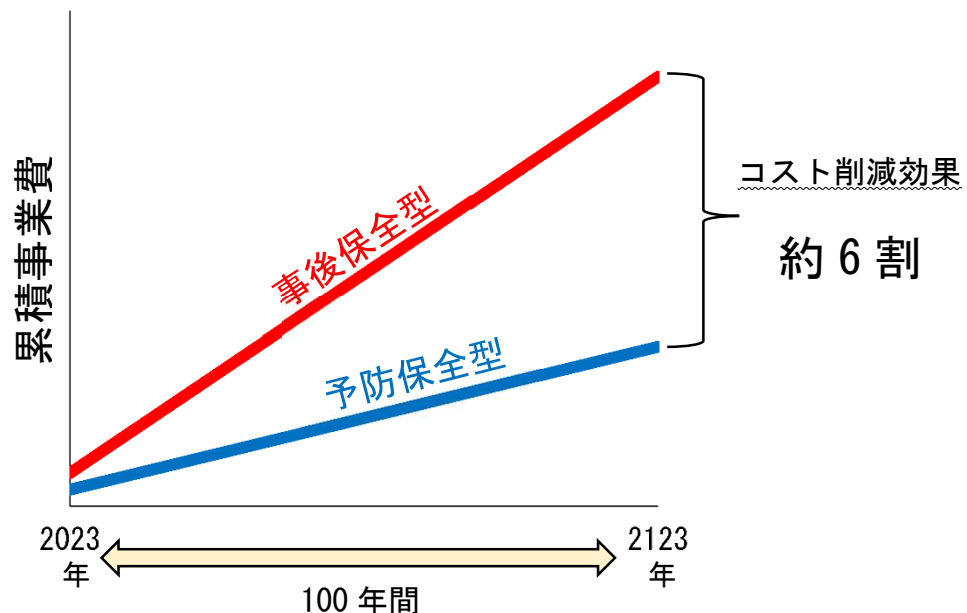
■長寿命化修繕計画による効果

443橋を予防保全的な維持管理を行うと、そのコスト縮減効果は**今後100年間で約6割のコスト縮減**が可能です。

事後保全的な維持管理
における累積事業費

予防保全的な維持管理
における累積事業費

コスト削減効果



■計画策定担当部署

みなかみ町 地域整備課

本稿に示した長寿命化計画は、社会情勢や財政状況、橋梁健全性の変化を考慮し、計画の見直しを行うこととしています。